

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公表番号】特表2017-518860(P2017-518860A)

【公表日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-026

【出願番号】特願2017-518026(P2017-518026)

【国際特許分類】

A 45 D 6/12 (2006.01)

A 45 D 7/00 (2006.01)

A 45 D 1/00 (2006.01)

A 45 D 2/12 (2006.01)

【F I】

A 45 D 6/12

A 45 D 7/00 A

A 45 D 1/00 503A

A 45 D 2/12

A 45 D 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月11日(2018.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

毛髪の温度を低下させるように適合された毛髪処理器具であつて、前記器具が、0未満に冷却されたときに凝固又は凝縮相変化のみを受ける材料から形成され、毛髪から熱を取るように配置された少なくとも1つの熱エネルギー貯蔵コアと、1つの熱エネルギー貯蔵コアを包囲するように構成された少なくとも1つの接触筐体と、少なくとも1つの接触筐体に接続されるハンドルと、を含み、前記少なくとも1つの熱エネルギー貯蔵コアが、0未満の温度まで毛髪を冷却するように配置される、毛髪処理器具。

【請求項2】

前記接触筐体が、流体熱エネルギー貯蔵コアを閉じ込めるように配置される、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項3】

3.5~15質量%のイオン系添加物を有する水系熱エネルギー貯蔵コアを含む、請求項2に記載の毛髪処理器具。

【請求項4】

約-0~-10で融解潜熱効果を受ける流体熱エネルギー貯蔵コアを含む、請求項2に記載の毛髪処理器具。

【請求項5】

約-3~-8で融解潜熱効果を受ける流体熱エネルギー貯蔵コアを含む、請求項2に記載の毛髪処理器具。

【請求項6】

接触筐体が、前記ハンドルへの取り外し可能な接続部を有する、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 7】

複数の取り外し可能な熱エネルギー貯蔵コアカートリッジを含む、請求項6に記載の毛髪処理器具。

【請求項 8】

接触筐体とハンドルとの間の接触面積が、少なくとも1つの断熱部によって最小限に抑えられる、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 9】

前記接触筐体が、接触面から前記熱貯蔵コアによって占められる体積の内部へと突出する金属シャフトによって提供される、少なくとも1つの熱伝達要素を含む、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 10】

熱エネルギー貯蔵コアが生理食塩溶液から形成される、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 11】

ハンドルが、前記接触筐体のすぐ近くに位置する温度センサと、検知された温度が最大動作温度を超える場合にユーザに警告するように構成された関連ユーザインジケータとを含む、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 12】

接触筐体の少なくとも一部を受容するように、かつ前記接触筐体内に保持される前記熱貯蔵コア冷却するように配置された基部ステーションを含む、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 13】

処理流体適用要素を含む、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 14】

凝縮促進要素が、接触面と関連して提供されて、水分を前記接触面上またはその付近で凝縮するように促す、請求項1に記載の毛髪処理器具。

【請求項 15】

i . 毛髪処理器具によって提供される熱エネルギー貯蔵コアを冷却するステップであつて、前記熱エネルギー貯蔵コアが0 未満まで冷却され、ハンドルに接続される接触筐体に包囲される、ステップと、

i i . 処理される毛髪を前記熱エネルギー貯蔵コアを包囲する前記接触筐体に曝露して、前記毛髪から熱を抽出し、かつ前記毛髪の温度を低下させるステップと、を特徴とする、毛髪処理方法。